■第3期荒尾市観光振興計画(仮称)の策定に向けた考え方

資料2-1

荒尾市観光振興計画(第2期)の概要

■ビジョン：幸せを感じる　感動が生まれる　荒尾　　■基本方針：荒尾の魅力（人と資源）を磨き上げる

■基本戦略：①地域の魅力づくり　②世界基準（万田坑･荒尾干潟等）の資源を活かす　③誘客

■計画期間：平成29年度～令和3年度　　■成果指標：観光入込客数　190万人→209万人

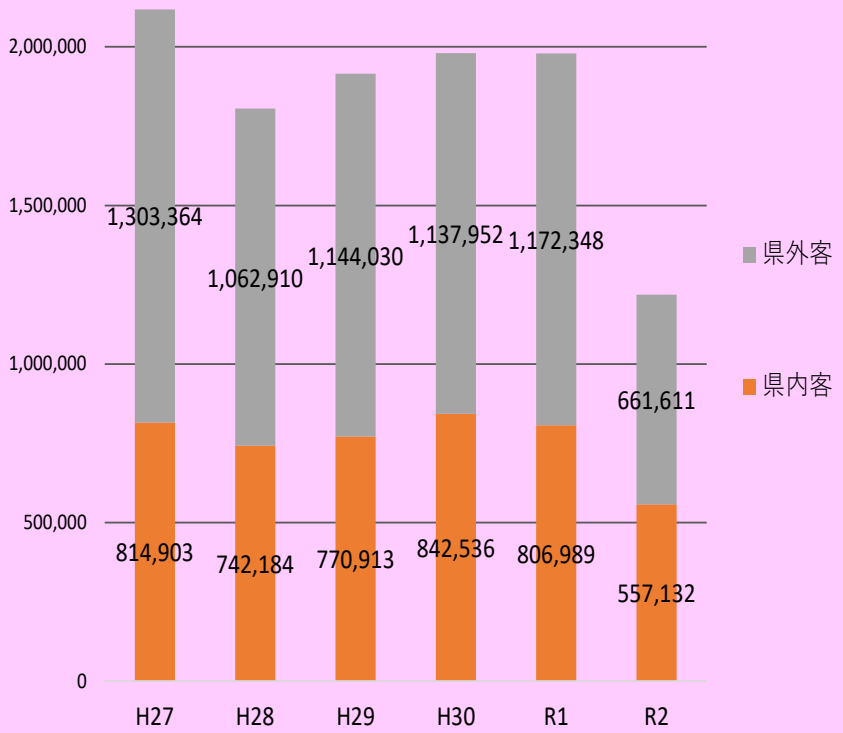
新型コロナウイルス感染症の発生

■**新型コロナウイルス感染症**の影響で令和2年の観光入込客数は大幅に減少している。

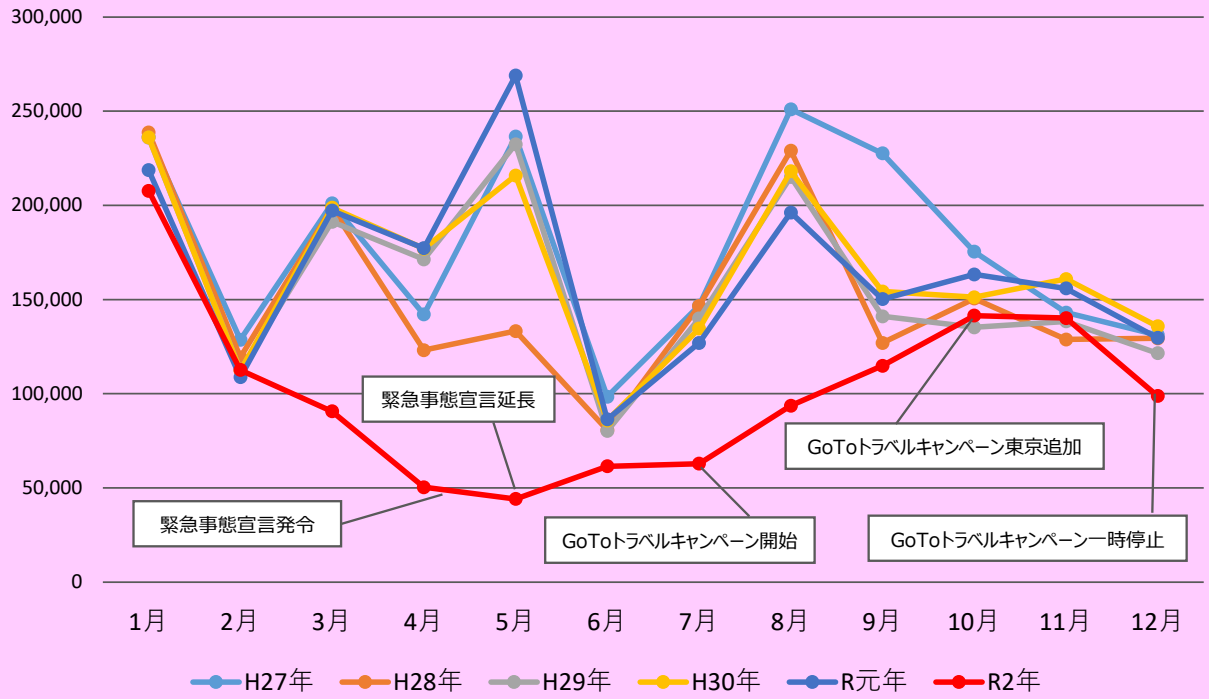
■例年観光入込客数が多い5月に**緊急事態宣言**が出されており、大きな打撃を受けた。

■**各種宿泊支援事業**の開始に伴い一定の回復傾向が見られたが、感染拡大状況の悪化に伴い**再度減少傾向に転じており**、予断を許さない状況となっている。

観光入込客数の推移（1月～12月／年別）



観光入込客数の推移（1月～12月／月別）



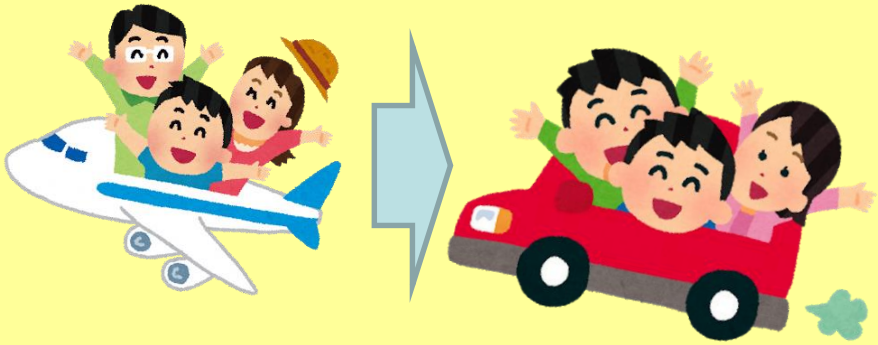
■第3期荒尾市観光振興計画(仮称)の策定に向けた考え方

■**新型コロナウイルス感染症**の影響で人々の生活スタイルや価値観が大きく変化している。

（**「新しい生活様式」**に基づく**三密回避**の取組み／**テレワーク**の推進、**オンラインショッピング**の浸透など）

■観光業界における影響が特に大きくなっており、**取り巻く状況が急速に変化してきている。**

（**「新しい旅のエチケット」**の作成、**「マイクロツーリズム」**や**「ワーケーション」**、**「ブレジャー」**などの新しい価値観の提唱など）



■今後、各地域において、**新しい価値観に基づく観光スタイル**の提案や誘客が進むと予想される中、**他地域に先んじて戦略的に誘客を進めるため**、社会情勢を踏まえた次期観光振興計画をできるだけ早期に策定したい。

■コロナ禍で観光産業が大きな打撃を受けている中、官民で課題を共有し、ありたい姿について関係団体と対話を重ねることは、**官民連携体制の構築に向けた好機**であると考えている。

➡ **「第3期荒尾市観光振興計画(仮称)」の策定時期を前倒しし、計画期間を令和3年度～令和7年度**とする。